Web掲載用写真の撮り方

ー素人でも、魅力的なWeb掲載用の写真を撮るー



魅力的な写真を撮るメリット

☑文章よりも写真の方がイメージしやすい

⇒自分が治療を受ける時のことを、文章ではイメージしませんよね・・・？

☑HPの閲覧者すべてに良い印象を与えることが出来る

⇒HPを見ている人数は、実際に来院する人数よりもはるかに多いです。そう考えてみると、玄関先の掃除よりも良い写真を撮るのを優先すべきでは・・・？

☑患者の先入観を軽減し、良い第一印象を与える

⇒例えば、「治療家の先生って恐そう・・・」という先入観があります。実際、なんとなく堅苦しいイメージがありますよね？ この先入観はチャンスです！想像との良いギャップを引き起こし、見込み患者の興味を惹きましょう。

もくじ

１．スタッフ写真の撮り方　マインド/バストアップ/アイキャッチ/光の当て方/確度/背景/集合写真

２．Before＆Afterの撮り方　撮影位置

３．施術風景の撮り方　視点/施術の流れ

４．院の撮り方　角度/光/清潔感/内観

５．アクセス

スタッフ写真の撮り方【マインド】

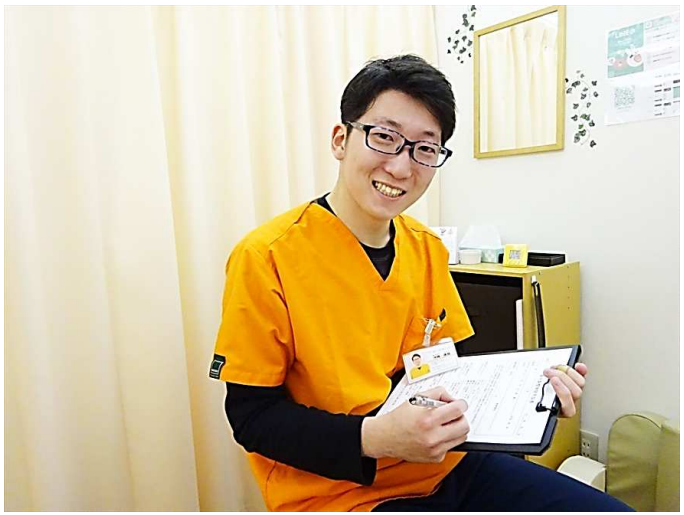
■患者は施術をイメージするとき、必ず先生の顔を浮かべる

⇒施術シーンは「患者」と「先生」のマンツーマン。患者は必ず先生の顔をイメージする。この時、先生の顔が怖かったり、苦手だったりすると、施術やサービスの質とは無関係に嫌な印象が付いてしまう…

表情は基本的に笑顔で！（笑顔に悪い印象を持つ方はいません）



右と左は同じ人。
話しかけるなら
どっちがい
い・・・？



スタッフ写真の撮り方【バストアップ】

■バストアップを意識する

⇒胸を強調するという意味ではなく、「上半身の写真を撮る」ということ。



↑上に空間がないと違和感・・・



↑まるで生首のよう・・・



違和感がない！

☑構図の上は人物の頭に少し空白が空いている
☑構図の下側は被写体の胸の上側が写る

スタッフ写真の撮り方【アイキャッチ】

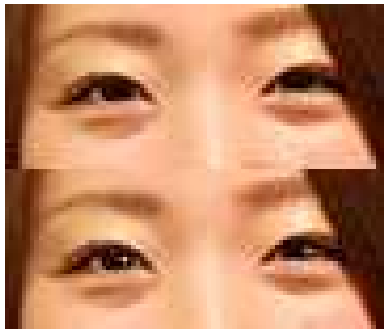
■アイキャッチ(目に映る光の点)を意識する





このわずかな違いが解りますか？
目の潤いが違います！

被写体の視線の先に光や白いものを配置して、瞳に潤いを与えることができる。



☑バストアップなら顔の下に白い紙を敷く
☑撮影側は白い手袋をする
☑明るい部屋で撮影する
☑フラッシュよりも自然の光の方が写りが良い

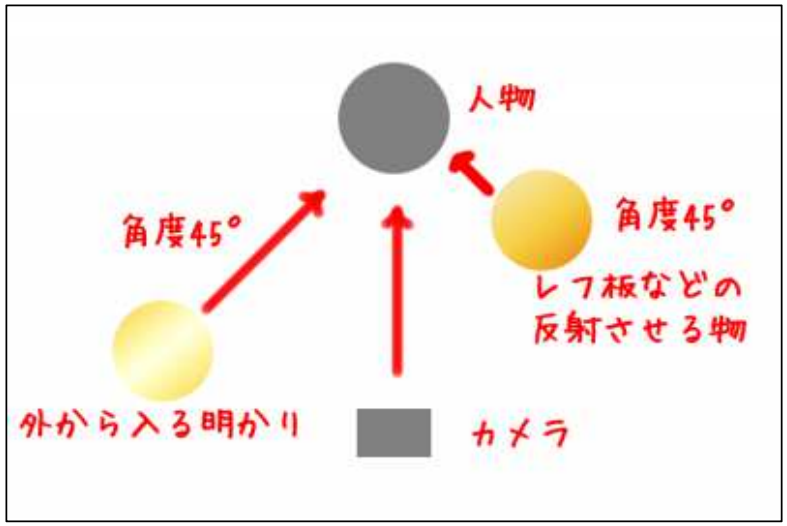
スタッフ写真の撮り方【光の当て方】

■被写体に光を集中させ、背景より目立たせる



左側が部屋の明かりで撮影したもの。
右側が2つの明かりを使ったもの。
同じカメラで撮影しているのに、
右側の方が被写体が強調されている。

右側はこうやって
撮ってます・・・！



↑この工夫を取り入れるだけで変わる！

☑照明を避けやさしい外の光を取り入れる
☑左側から外の光を当てる

スタッフ写真の撮り方【角度】

■すこし斜めから撮る

⇒真正面を向いた写真は証明写真のようで固く垢抜けない印象・・・。すこし身体を斜めにすることで、上半身がスッキリと洗練されて見える。

○



×



☑体の向きを正面からすこし斜めに
☑視線は必ずカメラの方向

どちらも同じ先生です。
斜めの方がスマートに見えますよね。
患者さまも安心します。

スタッフ写真の撮り方【背景】

■背景はシンプルに限る

⇒生活感のある物は避け(冷蔵庫などの家電、台所、雑巾など)、白い壁かカーテンなどをバックにして撮影する。※可能であれば背景をぼかせるとなお良し。





↑ピースサインはさておき、ハンガーや窓やカーテンなど背景がごちゃごちゃしていると、清潔感のない印象が残る・・・。



↑ドアの写り込みが気になる。ドア自体は綺麗であっても、背景に統一感が無ければ意識が散ってしまう・・・。

スタッフ写真の撮り方【集合写真】

■「みんな笑顔」を心掛けましょう

スタッフ間の距離にも
気を付けましょう！

⇒せっかくの集合写真で、一部の人は浮かない顔…

「きっとこの院のスタッフは仲が悪いんだ」なんて印象を持たれてしまいますよね。

一人一人の笑顔を引き出せるよう、注意して撮影しましょう。







Before＆Afterの撮り方【撮影位置】

■カメラの目線が床と平行になるように撮る

⇒カメラの目線を床と平行にすることで変化が分かりやすくなる。へたに色目をつけて上目や下目から撮影すると折角の変化がわかりづらくなる。



体全体を撮るのではなく、
変化のある部位を見やすく撮る。

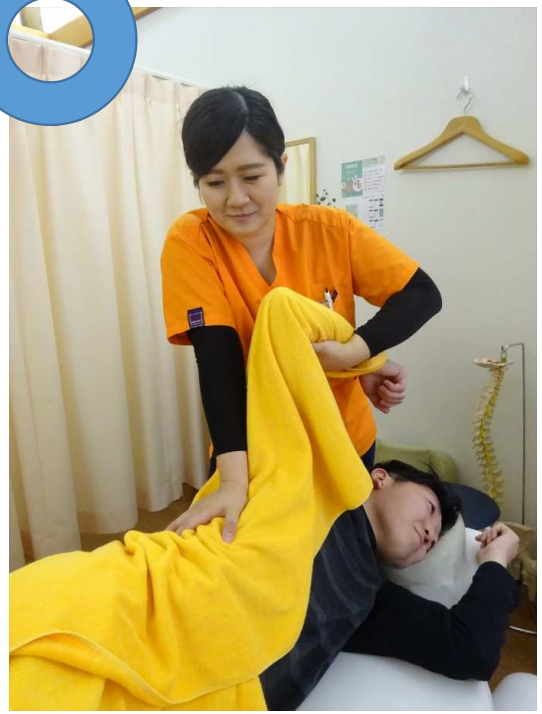




☑両方とも同じ場所・同じ服装・同じ視点で撮影する
☑関係の無い部位でも姿勢(腕など)は変えない方が◎

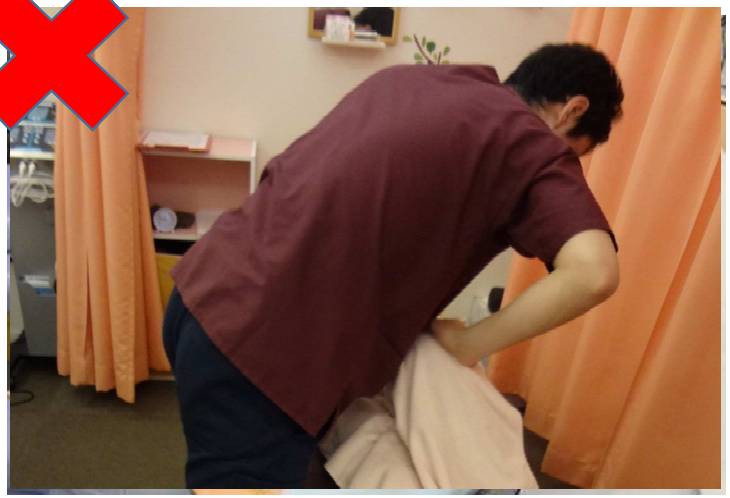
施術風景の撮り方【視点】

■施術部位が良く見える位置で撮る





☑先生の表情がわかる
☑施術部位がよく見える
☑拡大写真は背景をぼかす
☑明るく清潔感を感じられる



☑施術部位が隠れてしまっている・・・
☑先生の背中側から撮っている・・・
☑ドアや棚など、施術に関係の無いものが写っている・・・

施術風景の撮り方【施術の流れ】

■来院したことのない方がイメージしやすいもの







☑先生の表情がわかる
☑施術部位がよく見える
☑拡大写真は背景をぼかす
☑明るく清潔感を感じられる

☑施術部位が隠れてしまっている・・・
☑先生の背中側から撮っている・・・
☑ドアや棚など、施術に関係の無いものが写っている・・・

院の撮り方【角度】

■院の写真は床と水平に、斜めから撮ることで奥行を出す。





同じ場所を
撮影しているのに、
なんとなく中身が
充実して見えますね。

☑斜めから撮影することで、正面からは見えないアイテムも映し出すことができ、院内が充実して見える！

院の撮り方【光】

■日光を撮り入れると、開放感が出る。



心地よい
爽快感・開放感を
感じませんか？



照明に頼ると
閉塞的な印象です



院の撮り方【清潔感】

■トイレが綺麗かどうかで、院内の価値が変わる

⇒「トイレとは院内で一番汚いもの」。このギャップを払っておくだけで、院内の清潔感が底上げされます。極端に言うと、トイレが不潔だとすべてダメです。







院の撮り方【内観】

■受付、待合室、施術室、こだわりの小物など

⇒来院前のお客様が知りたい情報として、院内の清潔感ももちろん、

「どんな場所で着替える？施術する？」「入口はどんな感じだろう、迷わないか」といった不安を抱えています。内観写真はそういった来院前の不安要素を取り除く大切な内容なので、しっかり伝わるように撮影しましょう。






アクセス

■駅から治療院までの道のり案内

☑最も多い経路（最寄り駅～治療院）の道案内写真を入れると、
　お客様がスムーズに来院することができます。

☑矢印や、先生ご自身が案内しているように工夫すると
　さらに親近感の湧く写真になるので、院の良いイメージアピールできます。





